

院内保育園「こどもの国」での保育風景



七夕の短冊作り



夏まつりでの屋台ごっこ

開院1年を迎えるにあたって

理事長・院長 伊藤 誠司

7月14日に始まった記録的大雨で被災された方々にお見舞いを申し上げます。被災者の皆様には深い心労と大変な疲労を抱えながら生活再建を目指しておられることと存じます。私たち市立秋田総合病院も皆様の健康を維持するために全力でご支援していく所存です。

昨年10月1日に新病院を開院して以来もなく1年を迎えます。開院当初の混雑については皆様からご不満の声をいただきました。院内の配置が変わったことによる混乱でしたが何度か来院されるにつれて慣れてこられたことと思います。今後も親切丁寧なご案内を心がけていきますのでご不明なことがありましたらお近くの職員にお声がけしてください。

新病院で導入された低侵襲手術支援ロボットや検査・治療機器も順調に稼働しており、今後

も皆様のご要望に応えられるように努力を継続してまいります。

5月8日に新型コロナウイルス感染症が感染症法の取り扱いが2類相当から5類に変更されました。人々を苦しめていた旅行や移動、交流、経済活動などの制限が無くなったことは社会生活や精神的な面でも大変良い方向に向いたと感じております。しかし新型コロナウイルス感染症が完全に消失した訳ではなく、以前と変わらず高齢者や重篤な病気をもつ人にとっては極力感染しないように心がけることが重要です。皆様も決して油断することなく健康で充実した社会生活をお過ごしになられるように祈念しております。



最新医療機器 SPECT/CT 装置を導入しました！

～ガンマカメラ装置とCT撮影装置を 一体化した最新型 SPECT/CT 装置～

放射線科 科長 石山 公一



当院では2023年3月に、最新のSPECT/CT装置を導入いたしました。SPECT/CT装置とは核医学検査で使用する装置です。

核医学検査とは？

微量の放射線を発生する放射性同位元素（ラジオアイソトープ：RI）で目印をつけた放射性医薬品を体内に投与して、ガンマカメラという装置で撮影し病気を診断する検査です。脳や肺の血流、心臓や腎臓の働き、腫瘍や炎症の有無など、全身のあらゆる臓器の機能や病気を調べることが出来ます。

新しく導入した SPECT/CT 装置とは？

SPECT/CT装置とは、ガンマカメラ（SPECT：スペクト）装置とCT（コンピュータ断層撮影）装置が一体となった装置であり近年普及が進んでいますが、当院に導入した装置はドイツのシーメンス社製 Symbia Pro.Specta（シンビア プロ・スペクタ）という全国でもまだ数台しか稼働していない最先端の装置で、北海道・東北・北関東地区で初めての導入となります。

ガンマカメラ（SPECT）で通常の核医学検査はできますが、さらにCT撮影を併用することで、以下のようなメリットがあります。

● 核医学の SPECT 画像（機能画像）と CT 画像（形態画像）を重ね合わせた融合画像

SPECTとCTの一体化した装置により、2種の画像が一連の検査で撮影できるようになりました。核医学画像とCT画像が位置ずれなく重ね合わせて表示することができますので、核医学検査の機能・代謝画像とCTの解剖学的位置・形態情報を一括して観察できるようになります。CTを利用することで従来のガンマカメラ単体装置よりも正確な薬剤（放射線医薬品）の分布を表すことが出来ます。病変部位や機能を正確に描出することで診断精度の向上が期待されます。

● 患者様の負担軽減

最新型のSPECT/CT装置では、従来装置に比べSPECTにおいては検査時間が短縮、CTにおいて

は低線量で撮影が可能ですので患者様の身体的な負担も軽減されます。

当院の核医学検査においては核医学専門技師、核医学専門医が在籍しております。今後、さらに安全で良質な検査を提供できるよう努めて参ります。



図1：SPECT/CT装置

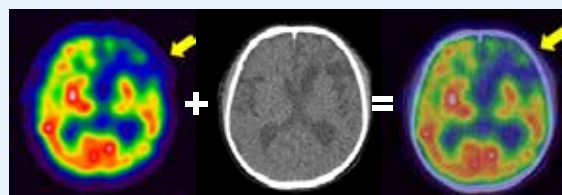
患者様を移動させずに一連でSPECTとCTの2種の検査を撮影できます。



SPECT画像(機能画像) CT画像(形態画像) SPECT/CT融合画像

図2：骨シンチグラフィ

黄矢印は骨転移。集積増加している病変部位が正確に把握できます。



SPECT画像(機能画像) CT画像(形態画像) SPECT/CT融合画像

図3：脳血流シンチグラフィ

黄矢印は血流低下部位。融合画像により機能画像と形態画像を同時に観察できます。脳血管疾患、認知症の診断に有用です。

救急ワークステーションの 取組みについて

救急科 科長 長谷川 傑



市立秋田総合病院救急外来では救急ワークステーションを秋田市消防本部と協同して運用していますのでご紹介します。

運用目的です。救急救命士、救急隊員および救急車を病院へ派遣し、病院内で研修する中で救急事案に医師とともに出動し直接指導をできるほか、必要に応じて医師自らが救急処置を行うなど、救急隊の教育機会の拡充および救命体制のさらなる充実強化を図る為に実施しています。実施日は毎週火曜日です。派遣要員は各署より人選された救急救命士および救急隊員3名で一隊運用しています。最大の特徴は、消防本部指令課より出動指令があれば、救急外来より救急医と共に出動し必要に応じて同乗医師自ら救命処置を実施出来る事です。県内で専用のシミュレーション実習室が設けられているのは当院のみであり、東北でも珍しく他の市町村からのお問い合わせがあり注目されています。

救急救命士は医療機関搬送後の経過を知ること、現場での活動が的確であったのか振り返ることができます。普段の救急活動では、搬送した傷病者を医師に引継ぐと直ちに次の救急要請に対応するため、その後の経過を知ることが

できなかった救急救命士が、救急出動中の観察や院内での診察、画像検査の結果などから指導、助言を受けることでスキルアップや日常勤務での課題解決などにつながっており、重要な育成機関となっています。医師と共に日頃の救急活動の振り返りや奏功事例などの意見交換を行うことにより、救急救命士、救急隊員がさらに高度な処置、救急活動を行うという意識が高まっております。

●ここでワークステーションに参加している救急救命士の声を皆様にご紹介します

救急隊は、急性疾患や交通事故などのあらゆる場面で迅速に救急活動を実施しています。また、秋田市は高齢化が進み、救急隊は地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を果たしています。このように、救急隊に求められている活動の範囲は広がっています。救急ワークステーションの取組みにより、医師を始め、看護師、臨床検査技師など様々な方々から指導、助言を受けてスキルアップに努めていき、地域社会に能力を還元していきたいと考えています。



気管挿管を行う手技

実施者(青色)は、直視しながらのどにチューブを挿入します。介助者(紺色)は、チューブの位置を器具のカメラで確認します。正確に実施されているか、実施者と介助者がダブルチェックします。



気管挿管の介助

チューブと気管との隙間からの漏れを防ぐため、介助者はカフに空気を注入しています。これにより、酸素の通り道が確保されます。



カンファレンス風景

医師より搬送事例の振り返りをしてフィードバック。部署の異なる人が集まり、意見交換をする場でもあります。

各種教室が再会されています

今年度、新設された「みんなの健康広場」やリニューアルされた「腎不全教室」をはじめ、4年ぶりに市民向けの各種健康教室が再開されました。医師からの講義は普段聞く機会は少なく、興味深い内容ばかりで、看護師や理学・作業療法士、栄養士などからの講義も大変好評です。参加された方は、皆さんメモをとり真剣な様子で講義を聞いているのが印象的でした。中には、座りながらできる軽い運動を行う教室もあり内容は充実したものになります。事前予約が不要な教室もありますので、ご家族、ご友人をお誘いのうえお気軽にご参加ください。



呼吸教室



糖尿病教室 配付資料

今後の教室開催予定 (会場：すべて5階講堂となります。)

腎不全教室

○時 間：午後3時30分～4時
○お問合せ：経営企画室 ☎823-4171

開催日	テーマ
10/10(火)	『透析がちかいと言われたら』 腎不全が進行したらどんな症状がでるのか、透析がちかいと言われたら、どのような治療があるのか。血液透析、腹膜透析、腎移植について当院泌尿器科医師が説明します。
11/14(火)	
12/12(火)	
R6.1/9(火)	
2/13(火)	
3/12(火)	

呼吸教室

○時 間：午後1時～1時40分
10/12(木)のみ 午後2時まで。
○お問合せ：総務課庶務係 ☎823-4171

開催日	テーマ
10/12(木)	● ストレスと体の関係について ● 肺機能検査について ● 呼吸器疾患と食事療法
11/9(木)	● 在宅酸素療法について ● 間質性肺炎について

笑顔カフェ

○時 間：午後2時～3時
○お問合せ：認知症疾患医療センター ☎866-7123

開催日	テーマ
9/28(木)	回想法 ～昔の体験を語り合って脳を活性化～
10/27(金)	認知症と運転の可否判断について
11/24(金)	認知症予防のためのお食事（仮）
R6.1/25(木)	社会資源等（仮）

みんなの健康広場

○日 時：原則として毎月第4金曜日 午後3時～4時
○お問合せ：医事課 ☎823-4171

開催日	テーマ
9/27(水)	ロコモティブ症候群
10/18(水)	女性特有の病気（女性限定）
11/29(水)	白内障、脂質異常症
12/22(金)	糖尿病
R6.1/26(金)	前立腺疾患と不整脈
2/21(水)	がん治療
3/22(金)	認知症

糖尿病教室

○時 間：午後1時30分～3時
○お問合せ：医事課 ☎823-4171

開催日	テーマ
10/10(火)	① 糖尿病について
12/12(火)	② 食事療法について
R6.2/13(火)	③ 薬物療法について
11/14(火)	① 糖尿病の検査について
R6.1/9(火)	② 日常生活の注意点
3/12(火)	③ 運動療法について

がんサポート教室

○時 間：午後1時30分～2時30分
○お問合せ：医事課 ☎823-4171

開催日	テーマ
9/21(木)	化学療法における頭皮ケア ウィッグ お化粧のお話

肝臓教室

○時 間：午後2時～3時
○お問合せ：医事課 ☎823-4171

開催日	テーマ
11/7(火)	● B型・C型肝炎治療の最前線 ● 腹部超音波検査で分かること
R6.2/6(火)	● 肝硬変は治る病気？ ● 肝臓病の治療薬について

旧病院解体および新病院屋外環境整備等工事について

昨年12月から現場施工に着手した解体工事は、今年5月末に診療棟の上屋取壊しを完了し、現在、病棟の上屋取壊しを進めております。病棟上層階では、重機をクレーンで吊上げて屋上に乗せ、上階から順に取壊す「階上解体」という工法を採用しました。並行して、解体により発生したコンクリート廃材を細かく破碎し、再生砕石として埋戻す作業を行っております。また、常時、騒音と振動を測定し、自主的に設けた基準値を継続的に超えることがないように抑制に努めております。

年内には旧病院の解体を完了し、年明けから平面駐車場やロータリー等の整備に着手する予定としております。そのため、立体駐車場から西入口への渡り廊下が使用できなくなり、立体駐車場をご利用なさる方は東入口からの来院となります。ご不便をお掛けいたしますが、安全第一に作業を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆写真(2023.9.1の状況)

■旧病院 病棟解体状況



■旧病院 診療棟解体状況



令和5年度秋田県臨海地区支部 ふれあい看護体験が開催されました

■日 時：7月26日(水) 13:30～17:00

■参加者：12名

(秋田県臨海地区支部内の中学校に在学する中学3年生)

上記日程で「ふれあい看護体験」が開催されました。病棟での看護体験の他に薬剤部、放射線科、リハビリテーション科、臨床検査科、手術室にもご協力頂き見学ができました。参加者の中には医学部や薬学部を目指す学生もあり、将来の進路に対する大きな動機づけになったようでした。なにより看護師のユニフォームを着た子供たちのキラキラした瞳が印象的でした。



栄養科レシピ

秋鮭と野菜のおろしダレ

材料(2人分)

- 生鮭(切り身)
70g程度×2切れ
- 薄力粉 適量
- 厚揚げ豆腐 1/2丁
- しめじ 1/2パック
- かぶ 2個
- 長ネギ 1本
- サラダ油 大さじ1
- ★おろしダレ
- 大根 200g
- 生姜 1かけ
- 醤油 大さじ4
- 酒 大さじ3
- みりん 大さじ3
- 酢 大さじ3
- 砂糖 小さじ1
- 和風顆粒だし 少々

秋は様々な食材が旬を迎えます。中でも秋鮭は体作りに大切なタンパク質を多く含みかつヘルシーな食材です。血液サラサラ成分であるDHAやEPAがたっぷり入っているほか、ビタミン類も豊富に含みます。

作り方

- ①鮭は一口大もしくはそぎ切りにし、表面に薄力粉をまぶす。
- ②厚揚げ豆腐は一口大に切る。しめじは小房に分ける。かぶは4～6等分のくし型に切る(葉を少し残しても良い)。ねぎは3cm長さのぶつ切りにする。
- ③フライパンにサラダ油を熱し、鮭・厚揚げ豆腐・しめじ・かぶ・ねぎを並べてこんがり焼く。
- ④火が通ったら、おろしダレを回しかけて、出来上がり！

★おろしダレ作り方

- ①大根をおろす。
- ②大根おろしは汁ごと、他調味料も全てフライパンで、中火で5分程煮詰める。

※お好みで、調味料の配分は調整して下さい。

【エネルギー 363kcal(1人分あたり)】 たんぱく質 23.9g / 脂質 19.6g / 炭水化物 22.7g / 食塩相当量 5.3g



令和5年度市立秋田総合病院病院祭開催のお知らせ

日時 10月7日(土) 9:00~12:30

4年ぶりの開催!!

開催内容

●健康講座

“100歳まで動ける身体づくり方”……………人工関節外科長 藤井 昌

“健康寿命へつながるわが家の食卓”……………管理栄養士 佐々木 美弥子

●体験コーナー

■手術支援ロボット操作体験

対象：小学校高学年～高校生（抽選15名様）

事前申込制ですので詳細は病院ホームページをご覧ください。

■手術・医療機器操作体験

■キッズファーマシー

■救急救命体験

■エコー体験&CT画像クイズ

●測定・健康相談

■血管年齢測定

■血中酸素飽和度測定

■物忘れ検査

■口コモ度テスト

■骨密度測定

■運動・栄養相談

●院内保育園、川尻小学校吹奏楽部の発表

前回の病院祭の様子



健康講座



キッズファーマシー



健康相談

子どもから大人まで楽しく学べるコーナーを多数企画しております。たくさんのご来場をお待ちしております♪

患者の権利

1. 個人としていつも人格を尊重される権利があります。
2. 誰でも平等に良質で安全な医療を受ける権利があります。
3. 十分な説明を受け、自ら治療法を決定する権利があります。
4. 自分が受けている医療について知る権利があります。
5. 医療を受けるときに主治医以外の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利があります。
6. あなたの医療上のプライバシーが保護される権利があります。
7. 自分が受けている医療について苦情を申し立てる権利があります。

市立秋田総合病院

理 念

- 市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けます。

基本方針

- 常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院として多様化する医療への要望に応えます。
- 患者さんの権利や意思を十分に尊重し、診療情報の提供による相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努め、患者さんが安心できる医療を行います。
- 職員にとり働きがいのある就労環境の整備に努め、質の高い医療人を育成します。
- 業務の改善と効率的な運営に努め、健全で安定した経営基盤を確立します。

編集・発行／市立秋田総合病院 令和5年9月15日発行

〒010-0933 秋田県秋田市川元松丘町4番30号 Tel (代表): 018-823-4171 Fax: 018-866-7026

E-mail: ro-homn@akita-city-hospital.jp https://www.akita-city-hospital.jp/